

平成29年度 卒業記念行事 H30.2.19

今日は、6年生が、かしの木を守るための土壌改良作業をしました。四国中央市森林林業振興班 森づくりグループから、白石さんはじめ3名の方も来てくださいました。白石さんのお話では、15年くらい前から、かしの木を守る取組が行われており、今までに、木の周りを大きく掘って土壌改良剤を入れたり、幹に栄養剤を注入したりしてきたそうです。そのかいあって、今年の今頃より少し多く新芽が出ているそうです。

そこで今年は、地面の表面が水分を吸収できるように、表層部分の一部に腐葉土を漉き込むことにしました。昨日、親父達の会のメンバーの方が掘ってくださっている土に、6年生全員で腐葉土を混ぜていきました。子どもたちは大切なかしの木を守るために、心を込めて作業をしていました。

最後に、土を広げて出てきた石を拾いました。思ったより多くの石がありました。これから、かしの木は新芽を出していきます。そのために必要な樹木に優しい腐葉土の栄養と、成長や光合成に必要な水分を十分に得ることができると思います。

今日は、森づくりグループの皆さん、6年生の皆さん、本当にありがとうございました。

